第3章

BroadStation の設定画面の機能

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定画面を使用してできる、さまざまな機能について説明しています。

3.1 BroadStation の設定画面の使い方

3.2 設定画面で使える機能

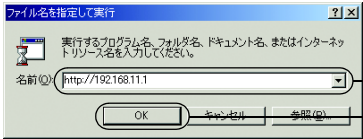
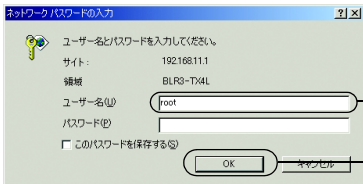
3.1 BroadStationの設定画面の使い方

■ 設定画面とは

BroadStationの設定画面では、簡易設定、詳細設定、機器診断をおこなうことができます。

簡易設定

最小限の入力をするだけで、BroadStationの設定ができます。

詳細設定

基本設定やアドレス変換、ルーティング設定など項目別に入力をして、BroadStation の設定をします。

機器診断

BroadStationの本体情報やネットワーク情報などを表示します。

■ 設定画面を表示する

BroadStationの設定画面は、以下の手順で表示できます。

1 ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］を選択します。

2

「http://192.168.11.1」と入力します。

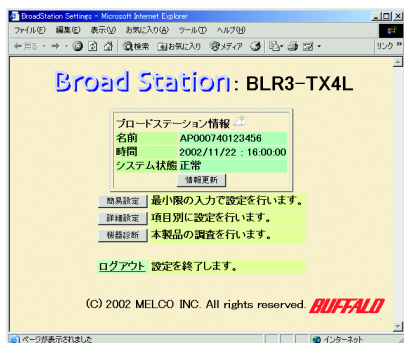
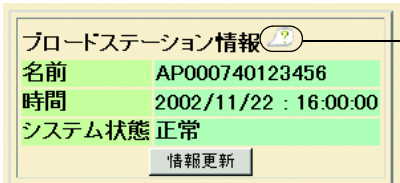
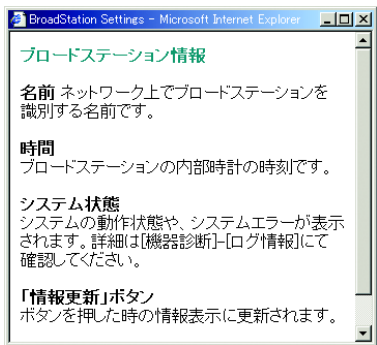
［OK］をクリックします。

3

「root」と入力します。

※ 「パスワード」は空欄にしてください。

［OK］をクリックします。

4

WEB ブラウザが起動して、設定画面が表示されます。

設定画面が表示されないときは、「第 2 章　困ったときは」の「設定画面が表示されない」（P36）を参照して、ブラウザの設定を確認してください。

■ 使い方をヘルプで見る

BroadStation の設定画面について詳しく知るには、ヘルプを参照してください。
ヘルプは、以下の手順で表示できます。

1 「設定画面を表示する」（P64）を参照して、BroadStation の設定画面を表示します。

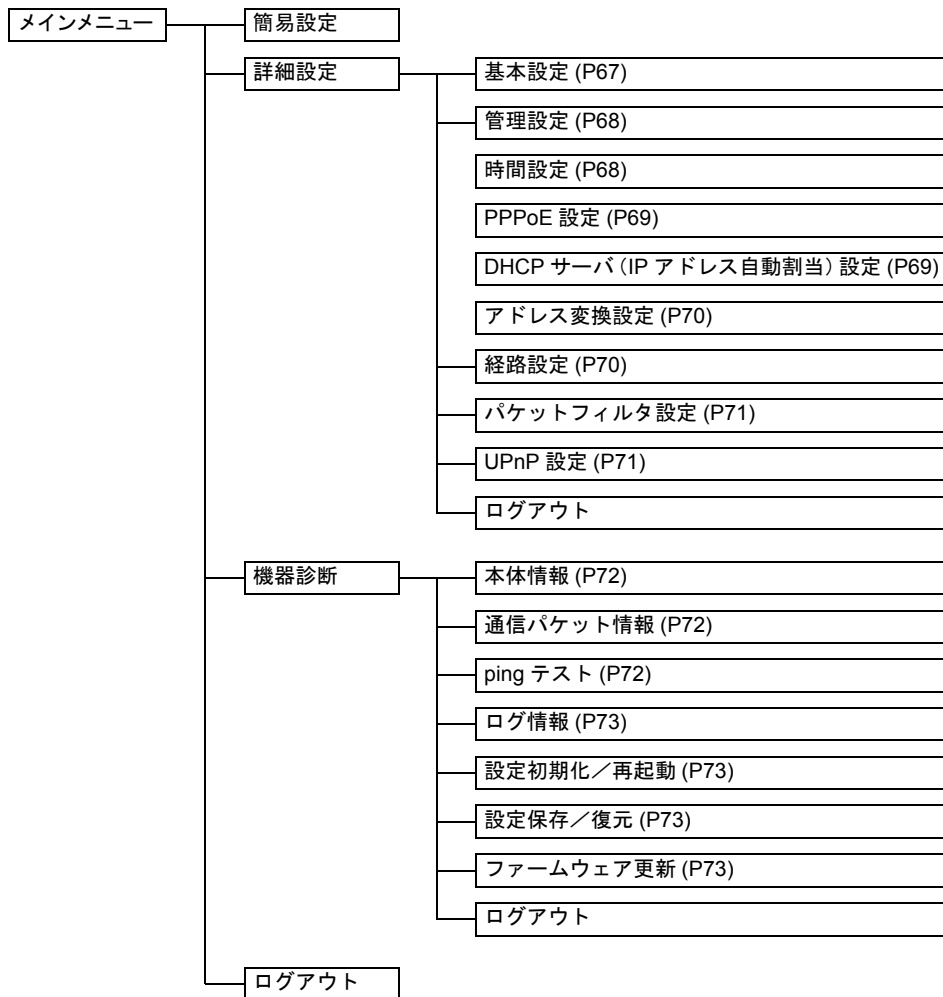
2

設定項目のとなりにある「？」マークをクリックします。

3

ヘルプ画面が表示されます。

3.2 設定画面で使える機能

■　設定画面の構成

■　詳細設定画面の機能一覧

メモ
- ※印のある項目は、簡易設定画面でも設定できます。
- 設定画面について、詳しくは設定画面上のヘルプを参照してください。

項目	説明	出荷時設定
基本設定		
ブロードステーション名※	BroadStation 名称を設定します。 メモ　半角英数字（大文字／小文字の区別あり）および、「-」を30文字まで入力できます。	"AP"+BroadStationのLAN側MACアドレス
WAN 側 MAC アドレス	WAN側のMACアドレスを設定します。 注意　不正なアドレスを入力して使用すると、BroadStation だけでなくネットワーク上の他の機器も使えなくなります。この設定はお客様の責任においておこなってください。	デフォルトのMACアドレスを使用
WAN 側 IP アドレス※	BoardStation の WAN 側の IP アドレスを設定します。	DHCP サーバから IP アドレスを自動取得
デフォルトゲートウェイアドレス※	デフォルトゲートウェイのIPアドレスの設定を行います。 デフォルトゲートウェイが存在しない場合は空欄にしてください。 WAN 側 IP アドレスを自動取得している場合、デフォルトゲートウェイは自動取得します。 ※ WAN 側 IP アドレスが手動設定時のみ設定が可能です。	空欄
DNS（ネーム）サーバアドレス※	BroadStation が名前解決に使用する DNS サーバを指定します。 プロバイダから指定がある場合に設定してください。	空欄
LAN 側 IP アドレス※	BroadStation の LAN 側の IP アドレスを設定します。	192.168.11.1 （255.255.255.0）

項目	説明	出荷時設定
DHCP サーバ機能※	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割当 IP アドレス※	パソコンへ割り当てるIPアドレスを設定します。	192.168.11.2 から 16 台
管理設定		
管理ユーザ名	BroadStation の設定画面へログインする際のユーザ名です。	root（変更不可）
新パスワード	BroadStation の設定画面へログインする際のパスワードを設定します。	空欄
パスワード確認	確認のためにパスワードを再度入力します。	空欄
時間設定		
タイムサーバ	BroadStation に日付や時間の設定をします。 プロトコル： 外部のタイムサーバに対応したプロトコルを選びます。日付や時間を手動で設定する場合は､「使用しない」を選択してください。 サーバ名： タイムサーバのアドレスを入力します。 タイムゾーン： BroadStation を使用している地域のタイムゾーンを選択します。	プロトコル： 「使用しない」 サーバ名： 空欄 タイムゾーン： 「GMT+09:00 東京、大阪、札幌、ソウル」
設定時刻	タイムサーバを「使用しない」に設定している場合、ここで日付や時刻を設定できます。	

項目	説明	出荷時設定
PPPoE 設定		
接続ユーザ名※	PPPoE　の認証に使用する接続ユーザ名を 60 文字以内で入力します。プロバイダに指定された接続ユーザ名を入力してください。	空欄
接続パスワード※	PPPoE の認証に使用する接続パスワードを 30 文字以内で入力します。プロバイダに指定された接続パスワードを入力してください。 正しく接続パスワードが入力されていることを確認する為、（確認用）の欄にも同一の接続パスワードを入力します。	
サービス名	接続する PPPoE 端末のサービス名を設定します。プロバイダから指定のない場合は空欄に設定してください。	空欄
切断時間	CATV/ x DSL 回線へ接続してから切断するまでの時間を、秒単位で設定します。常時接続の場合は、「0」（ゼロ）を入力してください。 （設定可能範囲：0 ～ 65535 秒）	300 秒
認証方法	プロバイダとの認証方法を設定します。	「自動認証」
DHCP サーバ（IP アドレス自動割当）設定		
DHCP サーバ機能※	IP アドレスを BroadStation から自動的に割り当てるかどうか設定します。	使用する
割当 IP アドレス※	パソコンへ割り当てるIPアドレスの範囲を設定します。	192.168.11.2 から 16 台
ドメイン名の通知	IP アドレスを割り当てる際に、パソコンに通知するドメイン名を指定します。	自動取得

項目	説明	出荷時設定
アドレス変換設定		
アドレス変換	IPマスカレード機能を使用する／使用しない を設定します。	使用する
DMZのアドレス	変換先不明のIPパケットをWAN側から受信したときに転送するIPアドレスを設定します。	空欄
TCP/UDP宛先ポート	WAN側からBroadStationの任意のポートに要求があった場合、BroadStationの宛先WAN側IPアドレスをLAN側IPアドレスに変換し、LAN側IPアドレスのパソコンへ転送します。	スタートポート： 空欄 エンドポート： 空欄
LAN側IPアドレス	WAN側からのアクセスを受けたいパソコン（サーバ等）のIPアドレスを入力します。「ポート」で指定したWANからの通信は全て、このパソコンに転送されます。	空欄
経路設定		
WAN側RIP送受信	WAN側ポートでのRIP情報の扱いを設定します。	なし
WAN側RIPバージョン	WAN側で扱うことのできるRIPのバージョンを選択します。	RIP2（ブロードキャスト）
LAN側RIP送受信	LAN側ポートでのRIP情報の扱いを設定します。	受信のみ
LAN側RIPバージョン	LAN側で扱うことのできるRIPのバージョンを選択します。	RIP2（ブロードキャスト）
宛先アドレス	宛先のIPアドレス／サブネットマスクを設定します。	空欄 （255.255.255.0）
ゲートウェイ	宛先のIPアドレスへ通信パケットを送信するときに中継するIPアドレスを設定します。	空欄
メトリック	宛先のIPアドレスまでに超える必要があるルータの数を設定します。	15

項目	説明	出荷時設定
パケットフィルタ設定		
動作	フィルタの動作を表示します。	「LAN 側からのパケットを無視する」（変更不可）
宛先 IP アドレス	通信パケットを通さない宛先IPアドレスを設定します。	空欄
送信元 IP アドレス	通信パケットを通さない送信元IPアドレスを設定します。	空欄
TCP/UDP 宛先ポート	フィルタの対象となるパケットの宛先ポートを入力します。	空欄
UPnP 設定		
UPnP 機能	UPnP 機能を使用する / しないを設定します。	使用しない
UPnP Name	パソコン上で BroadStation を UPnP デバイスとして検出した際に表示される名称です。	「BUFFALO BLR3-TX4L」（変更不可）

■　機器診断画面の機能一覧

項目	説明
本体情報	
製品名	BroadStation の製品名を表示します。
ブロードステーション名	BroadStation 名を表示します。
WAN 側 MAC アドレス	BroadStation の WAN 側の MAC アドレスを表示します。
LAN 側 MAC アドレス	BroadStation の LAN 側の MAC アドレスを表示します。
DHCP サーバ機能	IP アドレス自動割当機能を使用する／しないを表示します。
WAN 側 IP アドレス	BroadStation の WAN 側 IP アドレスを表示します。
LAN 側 IP アドレス	BroadStation の LAN 側 IP アドレスを表示します。
通信パケット情報	
送信パケット数	送信したパケット数を表示します。
受信パケット数	受信したパケット数を表示します。
コリジョン	通信エラーとなったパケット数を表示します。
システム作動時間	BroadStation が起動してからの時間を表示します。
ping テスト	
BroadStation から目的のパソコンへ通信が可能かテストします。 「宛先」欄に宛先の IP アドレスを入力して［実行］をクリックすると、ping テストが実行されます。	

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><th colspan="2">ログ情報</th></tr>
<tr><td colspan="2">BroadStation の動作記録を表示します。BroadStation が正常に動作しない場合は、ここから原因を探ることができます。

[最古] ボタン：　BroadStation が記録している一番古い情報を表示します。
[古ページ] ボタン：現在表示している情報より 1 ページ分、古い情報を表示します。
[新ページ] ボタン：現在表示している情報より 1 ページ分、新しい情報を表示します。
[最新] ボタン：　BroadStation が記録している一番新しい情報を表示します。
[消去] ボタン：　BroadStation が記録している情報を消去します。</td></tr>
<tr><th colspan="2">設定初期化／再起動</th></tr>
<tr><td colspan="2">BroadStation の設定を初期化したり、BroadStation を再起動したりできます。動作を選択して［実行］をクリックすると実行されます。
※［再起動］のみ行った場合は、設定項目が初期化されることはありません。</td></tr>
<tr><th colspan="2">設定保存／復元</th></tr>
<tr><td colspan="2">BroadStation の設定をファイルに保存したり、以前に保存された構成ファイルから設定を復元することができます。

設定の復元：「構成ファイル名」の横の［参照］をクリックして、構成ファイルを選択し、［設定の復元］をクリックすれば、設定が復元されます。
設定の保存：［構成ファイルの保存］を押して、ファイル名を指定して保存してください。</td></tr>
<tr><th colspan="2">ファームウェア更新</th></tr>
<tr><td colspan="2">弊社ホームページよりダウンロードしたファームウェアのバイナリファイルを、このページから BroadStation に書き込んで更新することができます。
「ファームウェアファイル名」の横の［参照］をクリックしてファイルを選択し、［ファームウェア更新］をクリックすると更新されます。</td></tr>
</table>